

釧路・根室管内 経済情勢報告

(令和7年4月から6月期)

財務省 釧路財務事務所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kushiro/>

【問い合わせ先】
財務省釧路財務事務所財務課
電話0154(32)0701

【 目 次 】

概 況	・ ・ ・ ・ ・	1
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	2
観 光	・ ・ ・ ・ ・	3
雇 用	・ ・ ・ ・ ・	4
生乳生産	・ ・ ・ ・ ・	5
漁 業	・ ・ ・ ・ ・	5
住宅建設	・ ・ ・ ・ ・	6
公共事業	・ ・ ・ ・ ・	6
企業倒産	・ ・ ・ ・ ・	7
金 融	・ ・ ・ ・ ・	7

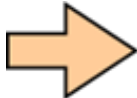
【利用上の注意】

- 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 本指標は、データ提供先の数値訂正や推計方法の変更等により、過去に遡って訂正する場合がある。

概 況

個人消費は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。観光は回復しつつある。雇用は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

このように、管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

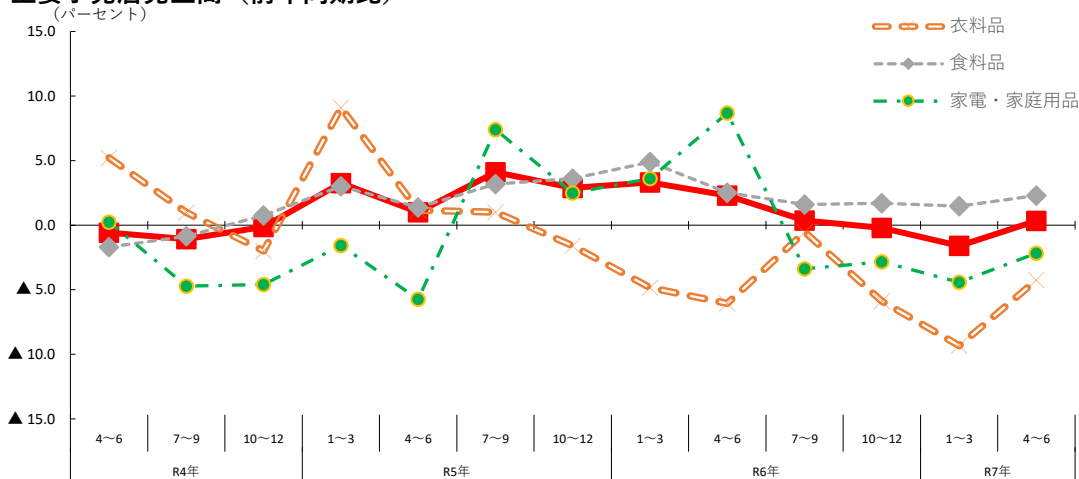
	前回（令和7年1月～3月期）	今回（令和7年4月～6月期）	前回比較	備考
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある		

個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		
観 光	回復しつつある	回復しつつある		
雇 用	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		

生乳生産	前年を上回る	前年を上回る		
漁 業	水揚量は前年を下回ったものの、水揚金額は前年を上回る	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る		下方修正は、令和2年10月～12月期以来、18期ぶり
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る		
公共事業	前年を下回る	前年を下回る		

先行き	先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が景気の持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続の影響等も、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。			
-----	---	--	--	--

主要小売店売上高（前年同期比）



(注) データ提供先に変更あり (R4.1、R5.1、R7.1)

資料：管内主要店舗（全店ベース）

- 主要小売店売上高は、衣料品及び家電・家庭用品が前年を下回っているものの、食料品が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

合計0.3 衣料品▲4.3 食料品2.3 家電・家庭用品▲2.2

【企業・関係団体の生の声】

- 衣料品は、物価上昇の影響による節約志向の高まりから買い控えの傾向が続いているほか、気温の上がない日が多く夏物衣料が振るわなかったことから、売上が昨年同期を下回った。
- 物価高による節約志向は継続しており、特売日のまとめ買いがみられる。一方、米に関しては価格が若干高くても道産米を購入する顧客が多く、メリハリ消費もみられる。
- 家電製品などの価格も軒並み上昇しているため、最新モデルではなく低価格帯や旧型モデルを購入する顧客が増えている。
- 気温が高い日が続いた6月下旬は、工事が不要なスポットクーラーの販売数が増加し、一時は店舗の在庫が品薄になるほどよく売れた。

- 乗用車新車登録・届出台数は、前年を下回っている。

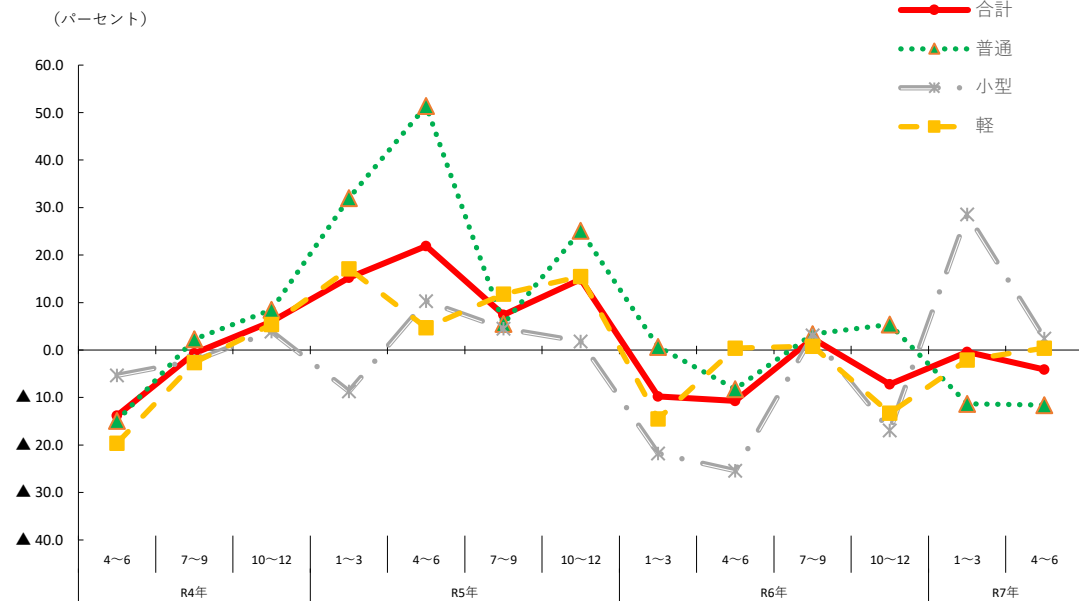
【前年同期比（単位：パーセント）】

合計▲4.1 普通▲11.6 小型2.4 軽0.4

【企業・関係団体の生の声】

- 各メーカーの人気車種のモデルチェンジが少なかったことが、登録台数が伸び悩んだ要因の一つと考えられる。夏以降は各メーカーの人気車種でモデルチェンジがあり、販売増に期待している。

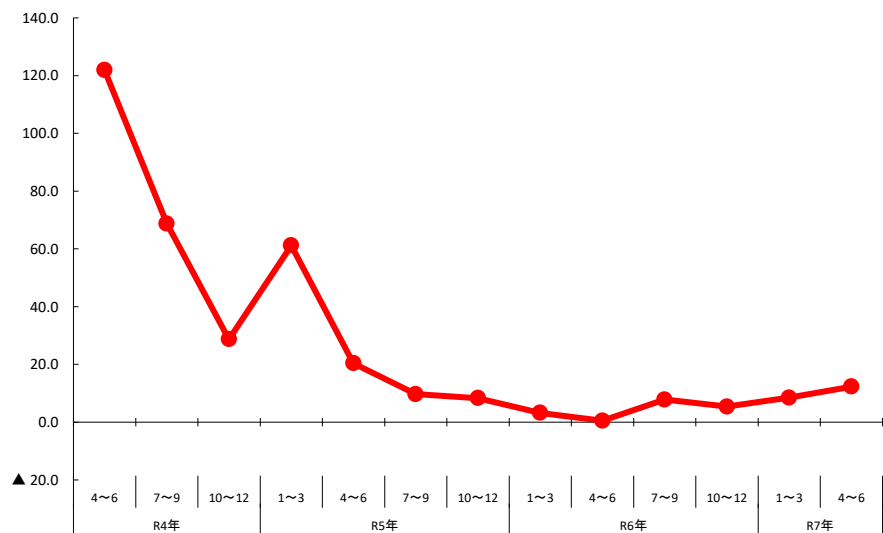
乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）



資料：（一社）日本自動車販売協会連合会釧路支部

空港乗降客数（前年同期比）

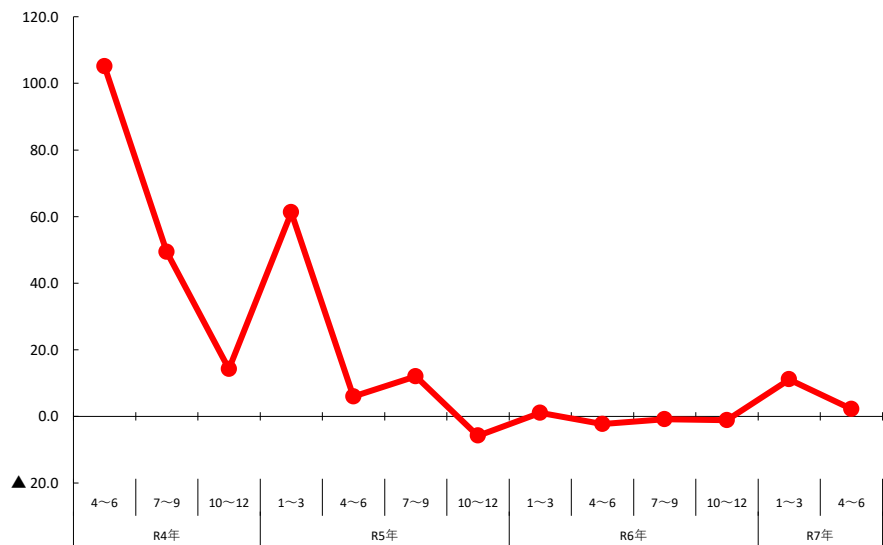
（パーセント）



資料：北海道エアポート(株)釧路空港事業所、中標津町

宿泊客数（前年同期比）

（パーセント）



資料：管内主要施設

- 空港乗降客数は、道外便、道内便ともに前年を上回っている。海外便は運航がなかった。
- 宿泊客数は、前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

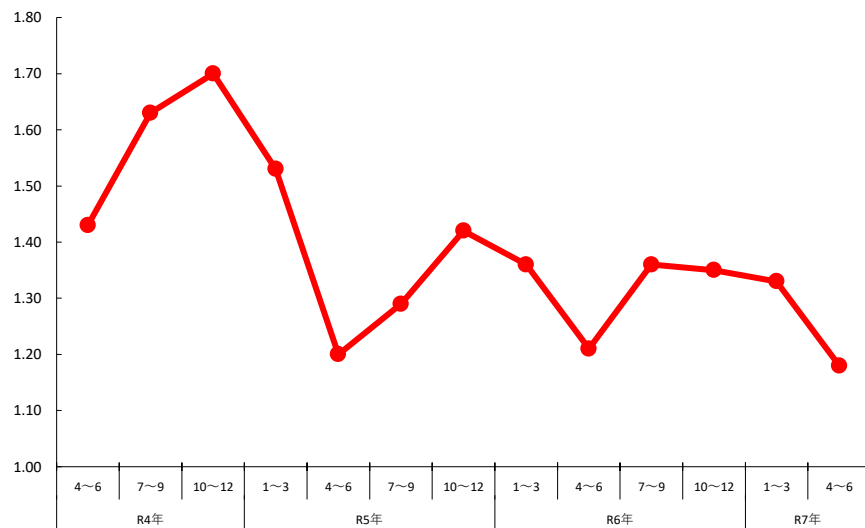
- ・ 空港乗降客数
合計**12.3** 道外便**12.7** 道内便**11.2** 海外便－
- ・ 宿泊客数**2.2**

【企業・関係団体の生の声】

- 国内客については、道外（特に東京周辺）からのツアーによる団体客の利用、春休みやGWの家族連れ層・夫婦といった個人客の利用がみられる。
- 昨年の「インターハイ北海道予選・全道大会」開催（バレーボール、柔道、ソフトテニス）からの反動減により5・6月の宿泊客数が伸び悩んだ。
- 高齢者層の長期滞在が増加しており、客層に変化がみられる。
- インバウンドについては、中国からの個人客、台湾からの団体客が増加している。
- 物価高騰の影響を受け、宿泊単価上昇が継続している。
- 足下の状況について、7月以降はスポーツ大会・イベント開催、スポーツ合宿地としての利用、夏休み中の家族連れ層の利用により、前年並みまたは前年を上回る見込みである。

有効求人倍率

(倍)



- 有効求人倍率は、有効求職者数が減少しているものの、それを上回って有効求人数が減少していることから、前年を下回っている。
- 新規求人数は、医療・福祉業などの業種で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

有効求人倍率**1.18倍**

【前年同期比 (単位：パーセント)】

有効求人数▲2.7 有効求職者数▲0.3 新規求人数▲1.1

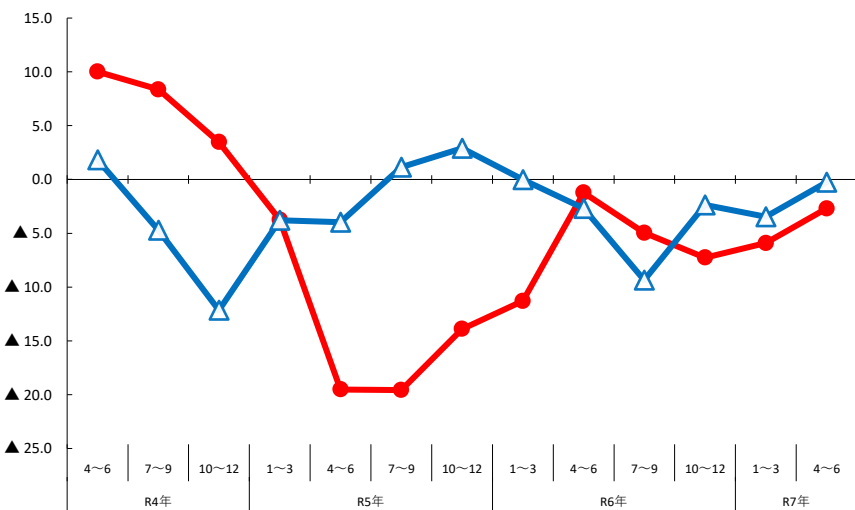
【企業・関係団体の生の声】

- 物価、燃料費、人件費等のコストが増加している中、先行きが見えない状況が継続している。人手不足ではあるものの、今は人を増やさずに現状の人員で対応したいと考えている企業が多い。
- 給与、勤務時間や休日の勤務条件を重視している方が増えている。このため、賃上げだけでなく休暇制度の変更など福利厚生の実に力を入れているとの声が聞かれている。

有効求人数・求職者数 (前年同期比)

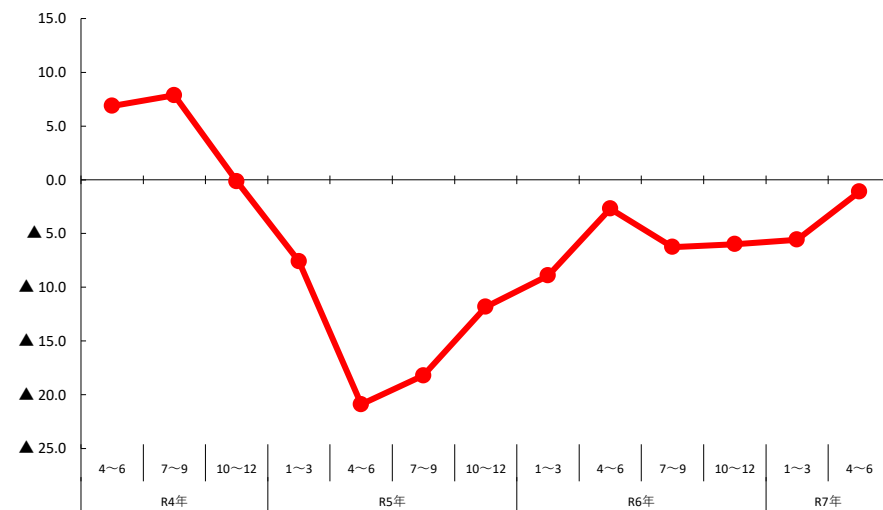
(パーセント)

● 有効求人数 ▲ 有効求職者数



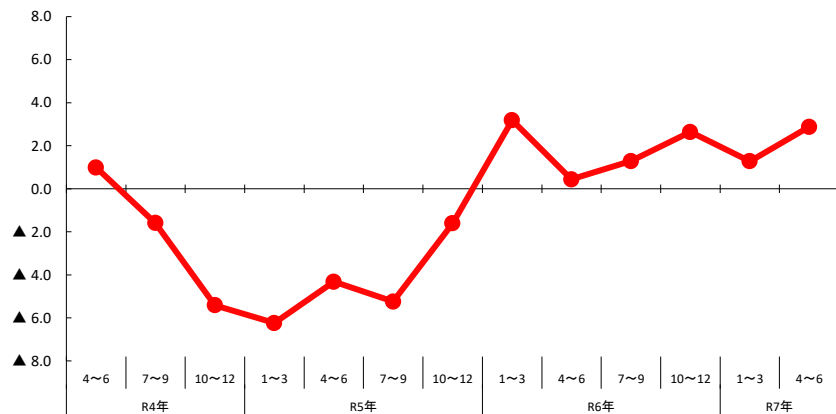
新規求人数 (前年同期比)

(パーセント)



生乳生産量（前年同期比）

（パーセント）



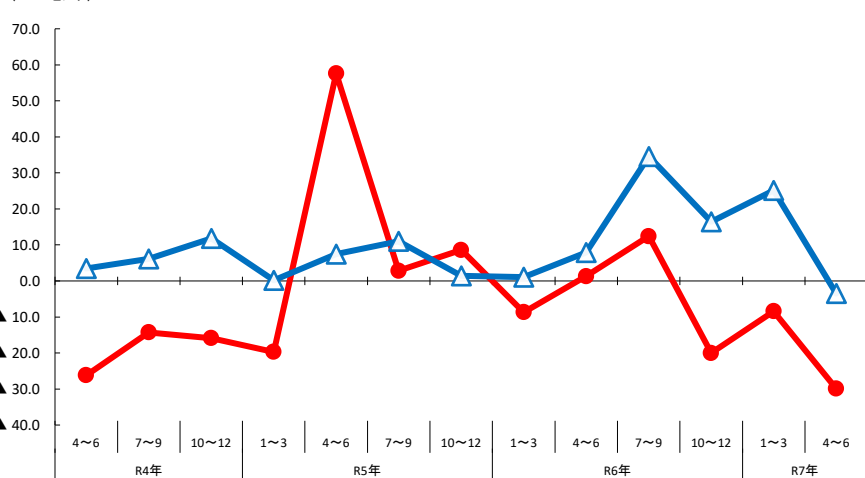
資料：ホクレン釧路、中標津支所

- 生乳生産量は、釧路、根室地域ともに前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 合計2.9 釧路4.0 根室2.2

水揚量・水揚金額（前年同期比）

（パーセント）



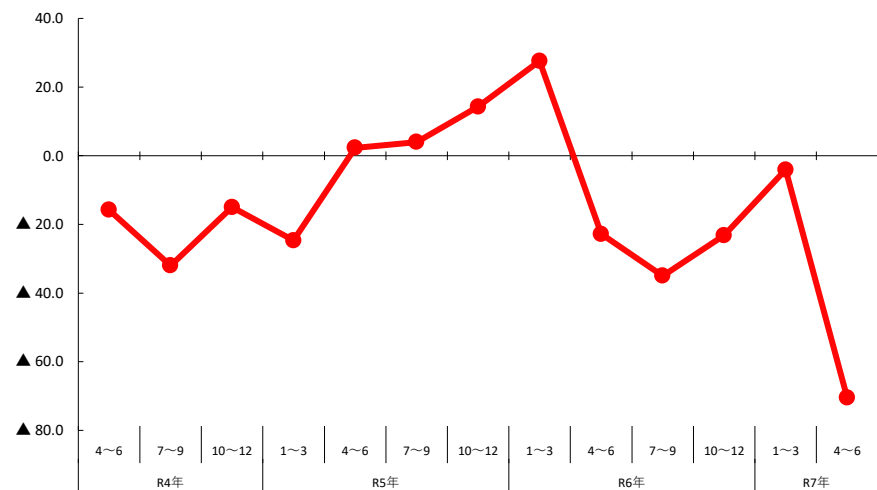
資料：主要 6 先

- 水揚量、水揚金額ともに、イワシなどが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 水揚量▲29.9 水揚金額▲3.5

住宅着工戸数（前年同期比）

（パーセント）



資料：国土交通省

- 住宅着工戸数は、貸家、持家、分譲住宅が前年を下回っていることから、前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

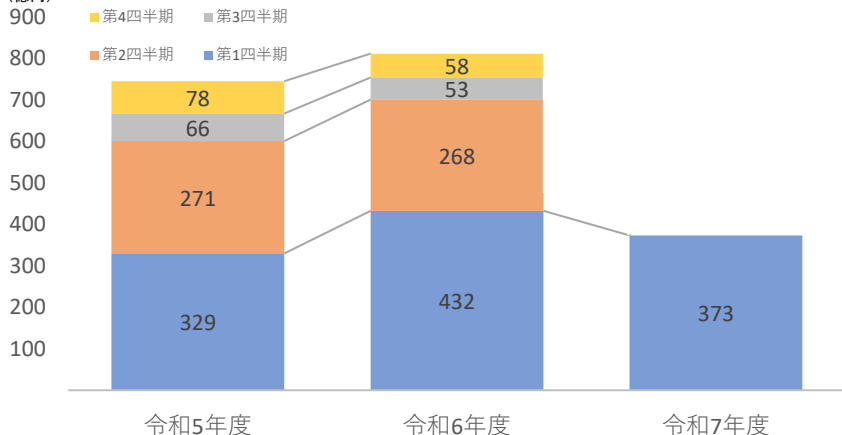
合計▲70.5 持家▲50.8 貸家▲95.6 分譲住宅▲12.5 給与住宅－

【企業・関係団体の生の声】

- 建設コストの増加から新築の受注は引き続き厳しい状況が続いている。
- リフォーム部門の受注は堅調となっている。
- 4月からの建築基準法などの改正に伴い、着工前の申請・審査に時間を要するようになったため、戸数の集計が7月以降にずれ込んでいるものがある。

前払金保証請負金額

（億円）



資料：北海道建設業信用保証㈱

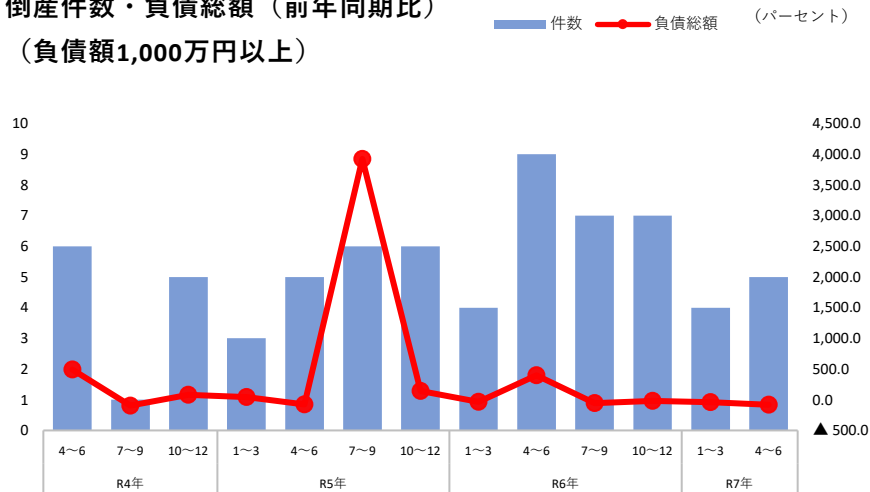
- 前払金保証請負金額でみると、北海道などが前年を上回っているものの、国、市町村などが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 第1四半期▲13.7 年度累計▲13.7

企業倒産

倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

倒産件数・負債総額（前年同期比）
（負債額1,000万円以上）



資料：㈱東京商工リサーチ

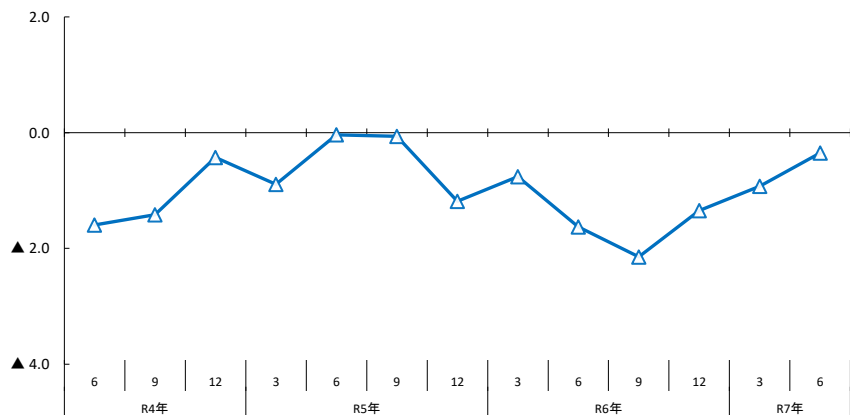
- 倒産件数は5件で前年を下回っており、負債総額も前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 負債総額▲81.1

金融

貸出金残高は前年を下回る

貸出金残高（前年同期比）
（パーセント）



資料：管内銀行、信用金庫、信用組合（※R7.3より信用組合の数値追加）

- 貸出金残高は前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 貸出金残高▲0.3